

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令 6 年 3 月 25 日

事業所名 キッズガーデンSeeds

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3				
	2 職員の配置数は適切である	2		1	・職員間で連絡を取り合っている。	・職員の入れ替わりはあったものの、人員配置では人数は満たしている。しかし、感染症で職員が休んだ時や個別対応の安全面を考えて人員不足ではと感じることがある。 ・外出や体験などの活動をする上で職員の割り振りや苦慮している面はある。ただ、職員数が単に増えても解決するかはわからない。各自が技能を磨いていけたら良いと思う。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	1	1	・現在は肢体不自由児の利用は無く、バリアフリー化はされていない。	・階段や玄関の砂利などはあるが、入退室の際は、必ず職員が傍で見守る等して危険がないように支援している。 ・今後、肢体不自由児の利用があれば改善していくと思う。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	2		1	・半年ごとに半期の振り返りと反省を行い、上司との面談を行っている。	・振り返りの部分の共通理解が書面のみでは難しい。 ・全員が目標設定と振り返りを半期ごとに行っている。各々が業務改善を意識しながら日々の業務に当たるようにしていく。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3				
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3			・ホームページで公開し、ブログの中で公開している旨を発信している。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	2			・行っていない。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	1	2			・導入しているシステムで動画を使った研修も可能なので、意識して自ら学びスキルアップにつなげていくようにする。
適切な 支援の 提...	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3			・各職員の意見も出してもらって作成している。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3				・
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	1	2		・長期休暇の活動は職員で割り振りし、その日の児童に合った活動を考えてきた。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	2	1		・利用時の興味や季節的なものなどを考慮して考えるようにしている。	・職員のスキルや見守り体制の面で同じ活動になってしまっていたこともある。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	2	1		・早めに計画を立てるようにしている。 ・それぞれの職員の意見を朝礼や申し送りノートで共有している。	・課題をきめ細やかにまでは至っていない。各々の職員で対応している部分もあるが、今後も職員会議等で話し合いを行い、情報共有し支援方法を統一していきたい。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	3				
15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	2	1				

供	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できるだけ早めに打ち合わせをし、必要な連絡事は共有するようにしている。</li> <li>・自分が支援に入っていない児童の記録は目を通すように心掛けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間に余裕があるときはすぐに伝えられるが、難しい場合は職員の誰かに伝えている。</li> </ul>
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	2	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気づき等はメモを取るようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援の検証は全職員でできているとは言えないが、朝礼や職員会議等で積極的に行えるようにしていく。</li> </ul>
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	2	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドラインから複数組み合わせるなど意識して活動を考えているとは言いが、結果的に遂行できている部分はあると思う。</li> </ul>	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	2	1		
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者と随時連絡を取り合って確認を行っている。必要があれば学校、担任の先生にも確認している。</li> </ul>	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在（これまで）医療的ケア児の受け入れはない。</li> <li>・持病や既往歴等については保護者に尋ね対応できるようにしている</li> </ul>	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援事業所を通して行っている。</li> </ul>
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度はそのようなケースがなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援事業所を通じて行っている</li> <li>・今後考えられるので情報提供するようにしていきたい。</li> </ul>
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・全員が研修に参加できると良い。</li> <li>・研修を受けられる機会があれば参加していく。</li> </ul>
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の中には交流を望んでいない方もいる。ただ、地域の公園などで一般の児童と一緒に遊びだしたケースはあった。</li> <li>・現段階では交流の機会を設ける予定はないが、今後も保護者の方の意向は確認していきたいと思う。</li> </ul>
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	2		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡帳でやり取りをし、送迎時に様子を伝えている。気になることなどは保護者の方の利便性も考えメール等で伝えることもあった。</li> </ul>	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援をしている児童が上手くいったときの詳細は伝えるようにしている。</li> <li>・ペアレントトレーニングには至っていないが、事業所内相談などは行っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要があれば行った方が良いと思うが、職員の専門性も必要なので自己研鑽に励むようにする。</li> </ul>	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	2	1			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			3		・今年度も保護者会を開催できていない。ただ、ベースとなる学校が違うこともあってか、保護者会の必要性を感じていない保護者の方もいらっしゃる。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2	1			・インターネット上のブログに主に活動についての情報発信を随時行い、行事予定やお便りを配布してきた。ブログについては、保護者にも周知してきたがどれぐらい見られているかは分からない。
	35	個人情報に十分注意している	3				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3				・子どもそれぞれに合わせて配慮し必要な場合は絵カードなどを用いている。お便りを出す場合も児童や保護者に分かりやすいように、伝えるべき内容を簡潔に作成するようにしている。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	2			・事業所に招待してはいるが、地域の施設や公園を利用したり、散歩や清掃活動で近隣に出掛けたりする活動を行ってきた。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	1			・玄関にマニュアルを置いているものもあるが、保護者への周知までに至っていない。今後の周知方法を検討していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3				・消防署等で救急蘇生の研修を受けた。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3				・セルフチェックシートの記入と研修を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2	1			・現在必要性のある児童がいないこともあり、計画に記載している児童はいない。・やむを得ず必要がある場合に支援計画に記載、保護者への説明、同意を得ている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	2			・現在アレルギーのある児童はいないが、契約時にアレルギーの有無については必ず確認をしている
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3				・現在は該当児がいないが、アレルギーがあるケースで受け入れ時にアセスメントで詳細に対応方法を保護者に確認する。	